領 域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術 I - 2	単位 (授業時間/時間数)	1 (10/30)
開講年次	1年次	開講時期	通年	授業回数	5回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
胜到 审话	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での 看護師 の実務経験を	
ト 特記事項 ト				ふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

看護師は患者の安全・安楽の確保という重要な役割を担っており、安全確保の技術はあらゆる看護の 領域において求められる基礎的能力のひとつである。適切な感染管理に基づいた感染防止のための基礎 的知識・技術・態度を身につけさせたい。本単元では、患者・看護師双方の安全・安楽を考慮した看護 を提供するために必要なスタンダードプリコーション・滅菌物の取り扱い・感染廃棄物の取り扱いなど の感染防止の技術を身につけることを目的とする。

授業目標

- 1. 感染成立の条件および感染予防の目的を理解することができる
- 2. 標準予防策を学び、実践することができる
- 3. 洗浄・消毒・滅菌の実際について説明することができる
- 4. 感染性廃棄物の取り扱いについて学び、実践することができる
- 5. 無菌操作の基本について学び、実践することができる

授業概要

- 1. 感染防止の基礎知識
- 2. 感染経路とその予防策
- 3. 標準予防策
- 4. 洗浄・消毒・滅菌
- 5. 無菌操作
- 6. 感染性廃棄物の取り扱い

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術 II (医学書院) 看護技術プラクティス (学研)

参考図書

評価方法

客観式テスト(40点)、出席、演習の取り組み、課題、提出状況などを踏まえて総合的に評価する。 試験時間は時間数に含む。

領 域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術 I - 2	単位 (授業時間/時間数)	1 (10/30)
開講年次	1年次	開講時期	通年	授業回数	5回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
胜到 审话	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での 看護師 の実務経験を	
ト 特記事項 ト				ふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

看護師は、おこりうる医療事故を防ぎ患者の安全・安楽を確保という重要な役割を担っている。安全確保の技術はあらゆる看護領域において求められる基礎的能力の一つであるため、本科目では医療の場における発生頻度の高い事故に対して、安全管理対策の必要性を理解し、管理技術を身につける。

授業目標

- 1. 安全確保の技術、基礎知識を理解することができる。
 - 1) 医療事故・医療過誤の意味を区別することができる。
 - 2) 安全を脅かす要因について述べることができる。
 - 3) 安全確保の方法を述べることができる。

授業概要

- 1. 安全確保の技術
 - 1) 安全確保の基礎知識
 - 2) 誤薬防止
 - 3) チューブ類の予定外抜去防止
 - 4) 患者誤認防止

授業の進め方

講義、グループワーク

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術 II (医学書院) 看護技術プラクティス (学研)

参考図書

ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践〔2〕 医療安全(メディカ出版) 配布資料

評価方法

客観式テスト:30点+演習取り組み状況:10点

試験時間は時間数に含む。

領 域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術 I - 2	単位 (授業時間/時間数)	1 (8/30)
開講年次	1年次	開講時期	通年	授業回数	4回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
性到事语	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での 看護師 の実務経験を	
ト 特記事項 ト				ふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

創傷の環境を整え、治癒を促すための看護を学ぶ。

創傷治癒過程を理解し、創部の観察、評価、それぞれの創に応じた創傷管理を習得できるようにする。また、感染管理や栄養管理、循環の維持などの全身状態を整えるトータルケアを学ぶことをねらいとする。

授業目標

- 1. 創傷治癒の過程を知り、褥瘡を含む創傷の予防や治癒促進への援助方法を理解することができる。
- 2. 包帯法の基礎知識を知り、巻軸帯や三角巾を用いた適切な援助ができる。

授業概要

- 1. 創傷の治癒過程
- 2. 創傷のアセスメント
- 3. 洗浄、保護、包帯法
- 4. 褥瘡の予防と治癒の促進

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術 II (医学書院) 看護技術プラクティス (学研)

参考図書

評価方法

客観式テスト+演習取り組み状況(20点) 試験時間は時間数に含む。